

---

イスラエルの回復のために祈りましょう

## イスラエルの イエメン系ユダヤ人

人口:約 100,000–165,000 人

■アデンという町で、イエメン系ユダヤ人が胸を膨らませ、大きな“うなる鷲”の着陸を待ち受けている。この飛行機の中は、まもなくイエメン系ユダヤ人でいっぱいになるだろう。乗客の多くは、イエメンの南からアデンまでの長い道のりを歩いてやって来た。イエメンのユダヤ人社会は、この時が来るのを長年夢見てきた。異境生活が終わりを告げ、シオンの地への帰還の日がようやく訪れたのである。イエメン系ユダヤ人の集団が 1948 年から 50 年にかけて、“魔法のじゅうたん作戦”や“鷲のつばさ作戦”と名付けられた空輸作戦により、続々とイスラエルに戻ってきた。現在、このイエメン系コミュニティーは、イスラエル国内で3番目に規模が大きいと言われている。

■ユダヤ人は、聖書の時代からイエメンで生活してきた。その多くは、紀元 70 年のローマ帝国のイスラエル支配の後、国外に散らされた人々である。イエメンでは、ユダヤ人への待遇は、その時々々の政府の政策次第で変化した。記録によると、統治者がユダヤ教に改宗したケースさえあるという。本当の迫害が始まったのは、イスラム教徒による統治のころからである。ユダヤ人には数多くの規制が課せられた。貧困にあえぐ彼らは、少数民族の中でも最も低く見られていた。しかし、隣人と良い関係を保っている人たちも多かった。あらゆる困難の中にあっても、イエメン系ユダヤ人は、決して自分のアイデンティティーや文化を捨てることはなかったのである。彼らの間でシオニズム運動があったわけではないが、イスラエルへの思いは常に心の中にあった。彼らは「メシアは必ずやってくる、そしていつかすべての国外に散らされた人々が呼び集められ、イスラエルに帰る」という、彼らの伝統的な信仰を堅く守り通したのである。1882 年、多くのイエメン系ユダヤ人がイエメンを後にし、おそらくラクダや徒歩で、パレスチナへと旅立った。1929 年にも、厳しい出国規制にもかかわらず、さらに多くの人々が国を離れた。48 年になると出国規制が許可されたため、大半の人々が飛行機でイスラエルに大挙してやって来た。現在まだイエメンに住んでいるユダヤ人は、たった 800 かそれ以下である(1990 年代後半現在)。ある情報源によると、この残されたユダヤ人も、半分ぐらいはここ数年のうちにイスラエルに帰国しているという。

■イエメン系ユダヤ人は、イスラエルに到着してからはエルサレムのシロアム界限、あるいはモシャヴと呼ばれる、小さな集団農場などに定住した。彼らは貧しく学歴も低いので、この地に住むヨーロッパ系ユダヤ人と比べてかなり異色な存在だった。しかし仕事においては勤勉、忠実であり、彼らはすぐに新しい技能や産業技術を身につけた。必要に応じてどこでも働く彼らは、堅固な自立共同体を築き上げ、他のイスラエル国民に大変好感をもたれたのである。

■イエメン系ユダヤ人は、ユダヤ的、イエメン的、そしてイスラエ尔的な文化を受け継いでいることを誇りに思っている。彼らは自分たちの共同体と居住区をたくさん作り上げた。自らの文化を誇りに思い、今でも多くの古い伝統を守っている。男女を問わず、カット(低木植物アラビアチャノキの葉で、刺激物の一種)をかんだり、水ギセルを吸ったりする光景はよく見られるものである。

■家族と宗教は、イエメン文化において、とても重要である。彼らは独自のユダヤ教会堂を持ち、メンバーが交替で礼拝の司会を務める。カバラというユダヤ教神秘主義は、18世紀の激しい迫害期に普及し、彼らの文化の中に深く根付いている。

■イエメン系ユダヤ人はその創造性を生かして、イスラエル文化に大いに貢献してきた。彼らは、音楽、作詩、ダンス、美術、そして精密な銀のすかし細工などの才能でよく知られている。

■もし、イエメン系のコミュニティーを訪れて、次のような光景を目の当たりにしたとしても、驚くには及ばない。ドラムの伴奏や歌声に乗ってダンスする人々と、おびただしい宝石が散りばめられた、華麗な衣装に身を包む一人の女性——。これはイエメンの伝統的な結婚式「ハ・インナ」なのである。

---



## 祈りの課題

☆イエメン系ユダヤ人の家族のために。彼らが、ほかのイスラエル人に対して説得力のあるよき手本であり続けるように。

☆イエメン系ユダヤ人がイエシュア(イエス)をメシアとして受け入れ、「諸国のための光となる」という使命と召しを成し遂げるように。

☆彼らがイエメンから持ってきた、霊的悪影響(特にカバラ神秘主義)から解放されるように。

☆イエメン系ユダヤ人が、イエシュア(イエス)を、イスラエルのメシアとして認めるように。

☆彼らの心に平安が訪れ、戦争における恐怖から解放されるように。

☆いまだにイエメンに住んでいる、イエメン系ユダヤ人のために。

☆彼らの中で非常に尊敬されている高齢者がメシアを知り、ほかの人を導くように。

---